



# NEWS LETTER

## 娘のチャレンジで気づいた 一仲間の中でことばは育つー

この春、新中一となった娘は、今回初めてリーダーズトレーニングキャンプ（以後リートレキャンプ※1）に参加しました。

「リートレキャンプをより充実させるには、キャンプの課題に取り組んでから参加することが大切。」オリエンテーションでそう聞いた娘は、早い時期から課題に取り組み始めました。

### 英語を一切話さなくなっていた娘が



私たち家族は夫の仕事の都合でNYに住んでいたことがあります。当時娘は現地の幼稚園に通っていて、友達とは英語で話していました。そこで娘は「英語」ということばだけでなく、様々な文化、宗教、歴史がある人たちと自然に出会い「多様性」の中で暮らしていました。

ところが日本に帰国すると、娘は日本の学校になじむために、「人と違う自分」を出すのをやめ、英語も一切話さなくなりました。そんな頃、セルラスを知り、入会しました。



セルラスのメンバーは、娘の背景の違いに興味を持ち、彼女の話に関心を持って受け止めてくれました。そのうちに彼女は変わり始め、ピアザや家で楽しそうに英語で話したりするようになりました。けれど娘は英語以外のことばには、なかなか自信が持てず、家でもあまりCDを聞くことはありませんでした。

## 勇気をもって他の言語にも挑戦！

リートレキャンプの課題には、英語以外の言語がありました。  
そして彼女は、週1回の多言語活動の場、ピアザで「来週は中国語でワンマンロールプレイをします！」と宣言しました

※2

やります！



普段そんなに積極的でない娘が、自ら手を挙げ宣言をする姿に、とても驚きました。  
でもそこには、一緒にリートレに行く仲間が存在が大きく影響していました。  
特に1つ年下の子たちが意欲的にチャレンジしている姿を見て、今までなかなか挙げられなかった手を挙げてみたのだと思いました。

## 仲間から応援をもらってやりとげた娘

娘は宣言したものの、限られた1週間という時間の中でとても苦しんでいました。私も娘を応援しようと一緒に取り組みましたが、なかなか上手く行きません。繰り返しCDを聞いても聞き取れず、気持ちが萎える娘の姿を何度も目にしました。  
それでも娘は諦めずにCDを聞き、そのうち彼女なりに中国語を口に出すようになってきました。



NEVER  
GIVE UP

いよいよ約束の1週間後のピアザ。  
娘は勇気を振り絞って、ワンマンロールプレイをやることになりました。  
娘はメンバーの1人に「一緒にやって欲しい」と声をかけ、一生懸命にやり始めました。  
するとメンバー全員が一緒になって中国語を言い出し身振り手振りもつけて応援してくれました。  
みんなと一緒に、娘は何とか最後までやり遂げることができました。



# ことばへの壁を乗り越えられて

ピアザから帰ったその日の晩、  
「みんなと一緒に中国語言ってくれたから、CDで聞き取れなかったところが聞き取れた！わかったよ！」  
と嬉々として話す娘がいました。  
それからは中国語のお話をスラスラと楽しそうに口ずさむようになったのです。  
彼女にとって中国語へのチャレンジが、ことばへの壁を乗り越えるきっかけになったのではないかと思います。



## 中国語だけでなくロシア語も

ロシア語

中国語

Fun!



その後、聞き取れないと抵抗のあったロシア語まで、いつの間にか口ずさむようになりました。  
そしてピアザに参加するごとに、ストーリーのイメージが深まり、言えることばが増えていきました。

娘は、初のリートレキャンプで満足のいく活動ができたようです。そして今でも家で、まるで好きな歌でも歌うように、ロシア語や中国語のストーリーの一場面を口ずさんでいます。

## ことばは仲間の中でそだつもの

どんなことばも人も受けとめ合うピアザという場、仲間の存在が、ことばを習得するうえでどれほど大切なのか。そして、ピアザでは、ことばと同時に勇気や自信も育っていくのだと思いました。



ワンマンロールプレイ：通常何人かで役に分かれて行うロールプレイを1人でやること  
リートレキャンプ：春休み中高大生が2泊3日で行う多言語活動でリーダーシップを育てるキャンプ